

# Weaving diagram の構成と同値類について

福田瑞季 (東北大学 AIMR)

小谷元子氏と Sonia Mahmoudi 氏との共同研究

2021/12/23

# イントロダクション

編み物 (Weave, Knitting, Fabric, ...) ... 編み方が少し変わると物性が変わる



Figure: 光沢のない Plain(左) と光沢のある Satin(右)

## 先行研究

- 仮想結び目を用いた knitting の研究 (河内, 2018)
- ネットワークに関連した周期的な分岐曲面の研究 (石原-小沢-古宇田-下川, 2019)

## 研究の目的

- 組み合わせ的手法を用いた weave の新しい構成法
- 物性に沿うような同値類の定式化

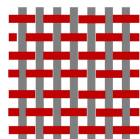
- 1 Weave の定義
- 2 Weave の組み合わせ的構成
- 3 簡単なケースの分類

## 定義 (Weave)

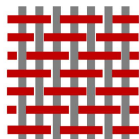
$N$  を 2 以上の自然数とする. 可算無限個の互いに平行な直線の集合  $T_i$  ( $i = 1, \dots, N$ ) の  $\mathbb{R}^3$  への埋め込みを (geodesic) weave という.

## 定義 (Weaving diagram)

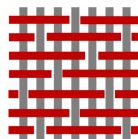
Weave  $W$  の正則射影図  $W_0$  に対し、各交点に上下の情報を付与したものを (geodesic) weaving diagram といい、 $D_{W_0}$  と書く.



Plain (1,1)



Twill (2,1)



Satin (4,1)

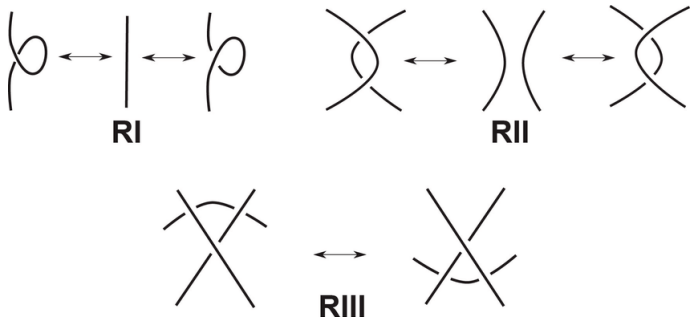


# weave のライデマイスター変形

以降 weave は周期性を持つものとする. つまり, 基本領域のコピーで weave が復元できるものを考える.

## 定理 (Grishanov '09)

2つの weave  $W_1$  と  $W_2$  が全同位であるための必要十分条件は  $D_{W_1}$  と  $D_{W_2}$  がトーラス上のアイソトピー及びトーラスツイスト, ライデマイスター変形で移り合うことである.



# Thread-tiling と vertex-cycle

## 定義

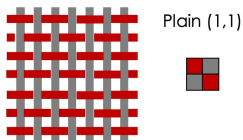
Thread-tiling とは 凸多面体の平面充填によって得られる 4-正則グラフのことをいう。

## 定義

$T_i$  内の 1 つの直線を  $t_i$  とし,  $v_{i,j} = t_i \cap t_j$  とする. 添字  $i$  に対して空でない  $v_{i,j}$  を並べたもの  $(v_{i,j_1}, \dots, v_{i,j_n})$  ( $n \leq N$ ) を vertex-cycle といい,  $\sigma'_i$  とかく. さらに  $\sigma'_i$  の集合を  $\Sigma'$  と書く.

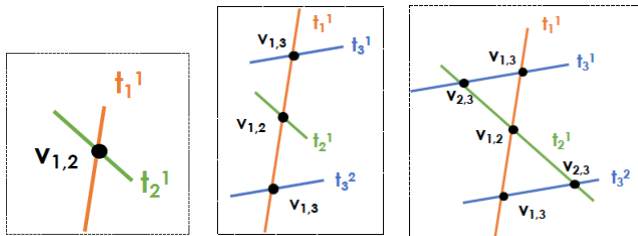
## 命題 (F.-Kotani-Mahmoudi)

Vertex-cycle の集合  $\Sigma'$  から Thread-tiling が構成できる.



# 例 ( $\Sigma' \Rightarrow$ thread-tiling)

$$\Sigma' = (\sigma'_1, \sigma'_2, \sigma'_3),$$
$$\sigma'_1 = (v_{1,2}, v_{1,3}), \sigma'_2 = (v_{2,3}, v_{2,1}), \sigma'_3 = (v_{3,1}, v_{3,2}).$$

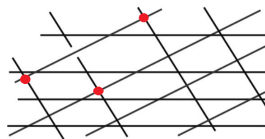
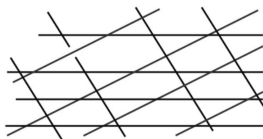
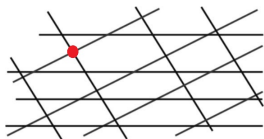


これはカゴメ格子から得られる thread-tiling と同じ。

## 定義 (Crossing-cycle)

$T_i$  と  $T_j$  に対して次を満たす列  $(c_{1,1}, \dots, c_{1,m_1}, c_{2k,1}, \dots, c_{2k,m_{2k}})$  を crossing-cycle とよび,  $\sigma_{i,j}$  と書く. また,  $\Sigma = \{\sigma_{i,j}\}$  と書く.

- $c_{2l-1,1}, \dots, c_{2l-1,m_{2l-1}}$  はすべて 1,
- $c_{2l,1}, \dots, c_{2l,m_{2l}}$  はすべて -1.



## 定理 (F.-Kotani-Mahmoudi)

Weaving diagram は  $\Sigma'$  と  $\Sigma$  から得られる.



## $\Sigma'$ , $\Sigma$ を用いた同値類 (1/2)

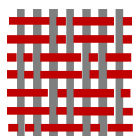
Basket(2,2) と Twill(2,2) は同じ thread-tiling から構成できる。  
基本領域のうち、交点が最も少なくなるものは異なる。  
一般に交点が最小になる基本領域を見つけるのは難しい。

$T_i = \{t_1^i, \dots, t_{n_i}^i\} \subset$  基本領域

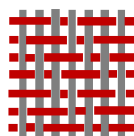
### 定義 (Crossing matrix)

次で定める行列  $M_{i,j} = (m_{k,l}) \in M(n_i, n_j; \{\pm 1\})$  を weave の  $(i, j)$ -crossing matrix という。

- $m_{k,l}$  は  $t_k^i$  と  $t_l^j$  の交点の情報で決まる。
- $t_k^i$  が  $t_l^j$  の上を通るなら  $m_{k,l} = 1$ ,
- $t_k^i$  が  $t_l^j$  の下を通るなら  $m_{k,l} = -1$ .



Basket (2,2)



Twill (2,2)



# $\Sigma'$ , $\Sigma$ を用いた同値類の言い換え (2/2)

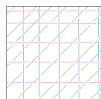
## 定理 (F.-Kotani-Mahmoudi)

$W_1, W_2$  をそれぞれ  $\Sigma', \Sigma$  から定まる weave とする. この2つの weave が同値であるための必要十分条件はそれぞれの crossing-matrix の集合が次の操作を除き集合として一致することである.

- 行または列の一斉巡回置換
- 行または列の一斉シフト

## 注意

巡回置換は基本領域の平行移動, シフトはトーラスツイストに対応している.

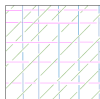


$$M_{1,2} = M_{2,3} = M_{3,1}$$



shift  $a = 1$

$\neq$



$$M_{1,2} = M_{2,3}$$



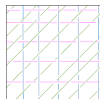
shift  $a = 1$

$$M_{3,1}$$



shift  $a = 4$

$\neq$



$$M_{1,2} = M_{2,3} = M_{3,1}$$



shift  $a = 1$

$$M_{2,3} = M_{3,1}$$



shift  $a = 1$

Set of Crossing Sequences	Crossing number (Writhe)	Minimal Diagram	Set of Crossing Matrices	Matrices	Number of Crossings by S.C.C.	Number of S.C.C. for Each Set on the Minimal Diagram	Name
$\{(1,1)\}$	2 (0)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & -1 \\ -1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 1	2	1 Ex: (1,1) and (-1,1)	Plain Square Weaving (1,1)
$\{(2,1)\}$	3 (1)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & -1 \\ +1 & -1 & +1 \\ -1 & +1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 3 "Diagonal configuration"	3	1 Ex: (2,1) and (-1,1)	Twill Square Weaving (1,1)
$\{(2,2)\}$	4 (0)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & -1 & -1 \\ -1 & +1 & +1 & -1 \\ -1 & -1 & +1 & +1 \\ +1 & -1 & -1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 2 "Diagonal configuration"	4	1 Ex: (2,1) and (-2,1)	Twill Square Weaving (2,2)
$\{(2,2)\}$	8 (0)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & -1 & -1 \\ +1 & +1 & -1 & -1 \\ -1 & -1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & +1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 1	4	2 Ex: (1,1) and (-1,1)	Plain Square Weaving (2,2)
$\{(3,1)\}$	4 (2)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & +1 & -1 \\ +1 & +1 & -1 & +1 \\ +1 & -1 & +1 & +1 \\ -1 & +1 & +1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 4 "Diagonal configuration"	4	1 Ex: (2,1) and (-2,1)	Twill Square Weaving (3,1)
$\{(3,1)\}$	16 (8)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & -1 & +1 \\ -1 & +1 & +1 & +1 \\ +1 & +1 & +1 & -1 \\ +1 & -1 & +1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 4	4	4 Ex: (1,1) and (-1,1)	Satin Square Weaving (3,1)
$\{(3,2)\}$	5 (1)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & +1 & -1 & -1 \\ +1 & +1 & -1 & -1 & +1 \\ +1 & -1 & -1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & +1 & +1 & +1 \\ -1 & +1 & +1 & +1 & -1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 5 "Diagonal configuration"	5	1 Ex: (1,1) and (-3,2)	Twill Square Weaving (3,2)
$\{(3,3)\}$	6 (0)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & +1 & -1 & -1 & -1 \\ +1 & +1 & -1 & -1 & -1 & +1 \\ +1 & -1 & -1 & -1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & -1 & +1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & +1 & +1 & +1 & -1 \\ -1 & +1 & +1 & +1 & -1 & -1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 3 "Diagonal configuration"	6	1 Ex: (3,1) and (-3,1)	Twill Square Weaving (3,3)
$\{(3,3)\}$	18 (0)		$\left\{ \begin{Bmatrix} +1 & +1 & +1 & -1 & -1 & -1 \\ +1 & +1 & +1 & -1 & -1 & -1 \\ +1 & +1 & +1 & -1 & -1 & -1 \\ -1 & -1 & -1 & +1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & -1 & +1 & +1 & +1 \\ -1 & -1 & -1 & +1 & +1 & +1 \end{Bmatrix} \right\}$	Rank = 1	6	3 Ex: (1,1) and (-1,1)	Plain Square Weaving (3,3)